

◆ 松本清張没後30年記念 ◆

● 国立台湾文学館・北九州市立松本清張記念館 共同企画展示 ●

松本清張と台湾ミステリー小説

遺された指紋
2022年7月29日(金)～10月23日(日)

松本清張記念館 企画展示室



国立台湾文学館



開館時間：午前9時30分～午後6時(入館は午後5時30分まで)

常設展観覧料：一般600円[480円]・中高生360円[280円]・小学生240円[190円]
(企画展観覧料を含む) ※[]内は30名以上の団体料金です。

休館日：毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)

〒803-0813 北九州市小倉北区城内2-3 TEL:093-582-2761 FAX:093-562-2303

共同開催



國立臺灣文學館
National Museum of Taiwan Literature



国立台湾文学館・北九州市立松本清張記念館 共同企画展示

遺された指紋――

松本清張と台湾ミステリー小説

近年、華文

ミステリーが話

題となっていま

す。中でも新しい

台湾作家の活躍

は、日本をはじめ

海外からも注目さ

れ始めています。

台湾で読まれるミ

ステリー作品の中

には、日本の小説も多く

含まれています。日本で

人気の小説は、いち早く

台湾の書店にも並び、多

くの読者が新作を心待ち

にしています。このような日

本ミステリー人気のきっかけ

のひとつが、80年代の松本清

張ブームでした。

「台湾文学」というアイデン

ティティを獲得するまで、多くの

苦難を乗り越えてきた台湾は、そ

の過程において日本の文学を受容

しました。その影響関係や、清張作

品の受容、そこから進化を遂げた現

在の台湾ミステリー、日本ミステリー

の状況についてご紹介します。

1 目撃証人の告白

日本とも関わりの深い台湾文学の歴史を知っていますか？

――あなたは今「台湾文学」の目撃者となるのです。

2 現場の如何なる痕跡も見逃さない

メイド・イン・台湾の推理小説がどのようにして生まれたか――

時代を遡って現場を追跡せよ！

3 断崖の向こうから来た推理

海を渡って台湾で起こった清張ブーム。

台湾ミステリーにも大きな影響を与えたのをご存知ですか？

4 終わりなき探究

最新まで「真実探究」の歩みを止めなかった作家 松本清張の

生い立ちから創作活動までご覧にいきましょう。

5 遺された指紋は誰のもの？

現在、台湾と日本のミステリー界は多彩で豊かな作品にあふれています。

誰が何故、何のために？――答えは本展で。

6 ミステリーに隠された真相

国立台湾文学館（台南市）・北九州市立松本清張記念館の

知られざる活動をご紹介します。



「民俗台湾」1巻1号
1941年 国立台湾文学館所蔵



『焦点』1977年 林白出版社
台湾で70年代に出版された松本清張『ゼロの焦点』



林佛兒『島嶼謀殺案』
2010年 印刷（台北）

共同開催

國立臺灣文學館
National Museum of Taiwan Literature

2022年7月29日（金）
～10月30日（日）
台湾台南市 700005 中西区中正路1号



特別企画展記念上映
“葬られた戦後史が甦る
清張作品と台湾ミステリー”

●2022年 9月予定
●小倉昭和館
北九州市小倉北区魚町4丁目2-9



「遺された指紋――
松本清張と台湾ミステリー小説」
in 台湾文化センター

●2022年 7月29日（金）～8月19日（金）
●台北駐日経済文化代表処台湾文化センター
東京都港区虎ノ門1丁目1-12 虎ノ門ビル2階



辻利茶舗×「松本清張と台湾ミステリー小説」

●辻利茶舗によるオリジナル煎茶の限定販売
●台湾スイーツや台湾茶の限定メニュー@SEICHO Café
●出張お茶セミナー など



松本清張と辻利茶舗

北九州市・小倉の辻利茶舗は、江戸時代万延元年（西暦1860年）に創業した辻利の京都・本店より、大正期（1923年）に九州最大の商都「小倉」の地へ支店長として赴任、九州のお客様に宇治茶の販売を始めました。
同じころ、松本清張も小倉の街で少年期を過ごしていました。
やがて作家となるチャンスを掴み、上京を決意した清張が、東京行きの列車を途中下車して取材したのが京都・宇治でした。「運不運 わが小説」には「小倉にある辻利商店の紹介状を持って茶の卸商辻利兵衛商店に行きました。」とあります。このときの着想は、のちに「蔭」（むしろ）という小説に結実しています。

台湾と辻利茶舗

日本統治時代の明治32年、三代目である三好徳三郎*が台湾へ渡り、台北に「辻利茶舗」を開店しました。宇治茶や烏龍茶を扱い、台北で多くの方に親しまれました。現在では小倉・辻利茶舗が台湾でカフェを展開し、日本のお茶で台湾の人々の心を掴んでいます。このように、辻利と台湾との関係は深く、小倉でも本場レシピで作る台湾カステラの販売や、人的交流などが続いています。

*終戦後、台湾から京都・祇園へ移り辻利茶舗を開店



JR…小倉駅より徒歩15分 西小倉駅より徒歩5分
バス…小倉城・松本清張記念館前下車
車…北九州市高速、大手町ランプより5分

北九州市立
松本清張記念館

〒803-0813 北九州市小倉北区城内2番3号
TEL.093(582)2761 FAX.093(562)2303